

SDGs達成に向けた取組チェックリスト

【基本的な事項】

・ 期待レベルが「基本」の項目（黄色マーク項目）は、必須記載項目です。
・ 期待レベルが「応用」の項目は、該当がある場合に記載してください。

カテ ゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待 レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
人権・ 労働	1 【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している	基本	社会	・採用面接官研修の実施 ・就業規則、及びコーポレートガバナンスにて「差別禁止」「人権尊重」を明記 ・年1回の人権等に関する社員教育の実施、及び通報窓口の案内により確認 ・不定期に従業員インタビューの実施					○			○		○						○	
	2 【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている	基本	社会	・ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記。またハラスメント防止規程を制定。 ・ハラスメント相談窓口(内部・外部)の設置 ・ハラスメント啓発ポスターの掲示 ・管理職向け/全社向けのハラスメント防止研修の実施(1回/年)					○			○								○	
	3 【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない	基本	社会	・管理職への月2回の時間外労働実態通知 ・個人への労働時間のアラートシステム								○									
	4 【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している	基本	社会	・就業規則、及びコーポレートガバナンスにて「差別禁止」「人権尊重」を明記				○				○		○							
	5 【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている	基本	社会	・HHM委員会(安全衛生委員会)および分科会ごとの定期巡視とリスクの洗い出し(1回/月) ・ヒヤリハット研修の実施 ・産業医及び看護師巡視(1回/月)			○					○									
	6 【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している	基本	社会	・外部相談窓口の設置 ・メンタルヘルスに関する研修実施(1回/年) ・産業医・看護師への相談 ・ストレスチェック実施による状況把握とその対策実施 ・定時退社の奨励によるワークライフバランスの充実			○														
	7 【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている	基本	社会	・産休育休取得率 女性100% ・障がい者雇用実施 ・70歳を超える雇用					○			○		○							
	8 【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる	応用	社会	・社内ヨガ教室の実施(不定期) ・健康診断後の結果の見方・食事指導健康教室(1回/年) ・VF協力:姿勢改善教室(運動プログラム) ・毎月の健康目標設定、・禁煙啓蒙活動(毎月22日) ・従業員腸内細菌調査(1〜2回/5年) ・「やまなし健康経営優良企業」「健康経営優良法人2023(大規模法人部門)認定」			○					○									
	9 【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している	応用	社会、経済	・資格取得祝い金制度 ・社内教育訓練規定制定 ・ISO9001に基づくスキルマップからの自己成長に関する目標設定(2回/年) ・図書ブースの設置 ・外部セミナー情報を社内SNSに掲載				○				○	○								
	10 【雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている	応用	社会、経済	・賃金体系、等級制度の見直し、目標制度による正当な評価の実施								○		○							

カテゴリー	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	基本	環境	・廃棄物量削減の目標設定、社員への共有 ・県指定委託業者に委託し、適切に管理(電子マニフェストによる管理) ・リサイクル率90%以上継続											○	○		○			
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	基本	環境	・太陽光発電設備の設置(中央工場、南湖工場) ・環境分科会による工場別エネルギー進捗確認、および構内巡視(1回/月) ・電力のデマンド管理、設備更新時の省エネ対策の実施 ・場内LED化の実施(継続)							○						○				
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	基本	環境	・太陽光発電設備の設置(中央工場、南湖工場)							○					○	○				
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	基本	環境	・有資格者による品質管理部門の分析用試薬等、法に基づいた適切な管理。 ・リスクアセスメントの実施による低減措置の実施。			○			○					○	○					
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境	・廃棄物等は県指定委託業者に委託し適切に管理。 ・環境に影響のある物が漏洩した際の漏洩訓練の実施(1回/年)						○									○		
16 環境	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	応用	環境	・利用状況の確認と共有(1回/月) ・センサー付き蛇口への切り替え						○											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	応用	環境	・ISO14001 全社取得			○			○	○					○	○	○	○		
18	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している	応用	環境	・会社環境目標の設定と共有(1/年)、また、各部門の環境目標の設定(1回/半年) ・来客者向け環境目標等の配布、及びホームページ掲載												○					
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	応用	環境	・太陽光発電設備の設置(中央工場、南湖工場) ・装置から発生する排気の熱エネルギー再利用の検討(2030年迄)							○						○				
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	応用	環境	・雨水浸透性アスファルトなどの環境設備の活用 ・環境にやさしい包材・インクへの切替												○	○	○	○		
21	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	応用	環境	・環境分科会にてリサイクル率の進捗確認(1回/月) ・廃棄物に関する研修の実施(入社時)						○					○	○	○	○	○		
22	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	・就業規則にて明記 ・年1回社員教育の実施、及び外部向け通報窓口設置																○	
23	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	・就業規則にて明記 ・年1回社員教育の実施、及び外部向け通報窓口設置																○	
24 公正な事業慣行	【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている	基本	社会	・管理部門による教育の実施 ・知的財産に関わる資格取得推奨								○	○								
25	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	社会	・個人情報保護規定による適切な管理 ・管理状況の内部監査実施(1回/年)																○	
26	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	応用	社会	・扱い無し																○	
27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害(低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等)の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)のための取組を要請している	応用	社会	・購買部門による監査実施及び要請(不定期)					○			○	○		○	○	○	○	○	○	○

カテゴリー	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
28	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	経済	・全社品質方針に基づく品質目標の設定(1回/年)、また部門品質目標の設定(1回/年)。 ・品質規定による品質マネジメントを推進 ・FSSC22000取得(中央工場、南湖工場麦茶ユニット) ・ハラール認証取得、コーシャ認証取得(南湖工場乾麺ユニット)			○									○					
29	【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している	基本	経済	・全社品質方針に基づく品質目標の設定(1回/年)、また部門品質目標の設定(1回/年)。 ・品質規定による品質マネジメントを推進									○								
30	【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	応用	経済、環境	・環境に配慮した包材・インクの採用						○						○	○	○	○		
31	【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	応用	社会、経済	・穀物の食物繊維による健康効果による健康維持への貢献	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	基本	環境、経済	・排水、騒音について自社の管理基準を設け、管理、対策の実施				○					○		○	○		○	○		○
33	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	応用	社会	・地元行政と包括連携を組む ・工場周辺地域イベントへの寄付 ・はくばく奨学基金 ・近隣清掃の実施				○							○			○	○		○
34	【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用(地産地消、地産外商)を行っている	応用	環境、社会、経済	・国内産原料増産への取り組みを全農県本部(経済連)へ働きかけ、向こう3年計画を策定し、順次進めている								○	○		○	○	○				
35	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に十分浸透している	基本	社会	・法令遵守が正しく実践されるよう研修の実施、及び動画研修の実施																○	
36	【内部管理体制】 ・経営理念(及びSDGsとの関係)・経営目標の社内への共有が行われている	基本	環境、社会、経済	・経営理念や社長方針に基づき、毎年経営目標を作成し、承認し、各現場に掲示して周知している。								○	○								○
37	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている	応用	社会	・法令遵守状況の確認(1回/年)と内部監査の実施(1回/年)																○	
38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている	応用	環境、社会	・担当部門を設置。マネジメントレビューにより問題が無いか確認(2回/年)																○	
39	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている	応用	社会、経済	・各会議にてリスク特定、評価。経営品質会議によりマネジメントを行う(1回/月)。 ・マネジメントレビューにより問題が無いか確認(2回/年)、その後のレビュー結果を次回にレビュー(2回/年)。																	○
40	【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR(Corporate Social Responsibility)の取組を進めている	応用	環境、社会	・ISO14001を取得 ・地域のプロスポーツチームの支援の実施																○	
41	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している	応用	社会	・株主、お客様・ビジネスパートナー、地域、社員等と、それぞれの手段で対話を実施。状況把握をした上で、対応している。																○	○
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	応用	環境、社会、経済	・BCP(事業継続計画)を策定している。									○		○		○			○	

